

教職員自己紹介

仲 隆(なか たかし)

知能情報学科・助教授

埼玉県の上福岡市というところで生まれ、高校までそこに住んでいました。大学は、茨城県の筑波大学。生物学、特に、動物生理学を学びました。卒論は、ワモンゴキブリの概日リズムの研究。ゴキブリの部屋を作り、周期的に暗くしたり明るくしたりして、夜と昼のリズムを学習させて、神経に電極を刺して、活動電位の変化を調べたりしていました。大学院も筑波大学で、コンピュータを使った生物の研究、特に、酵素反応系のシミュレーション解析を行いました。最初の就職は、東京の大手町にある三菱総合研究所。情報科学部門で、ソフトウェア開発環境の開発に始まり、自然言語処理技術やニューラルネットワークなど、様々なテーマの調査・研究をしました。7 年程後、転職。埼玉県の加須市というところに新設された埼玉短期大学の情報処理学科で、13 年間、教えていました。そのころ、シナプス伝達系のシミュレーション解析という研究をやり、博士(工学)を取得しました。その後、今年の 4 月、九州産業大学情報科学部に転職。現在に至るとなります。昨年からは、横浜にある理化学研究所ゲノム科学総合研究センター(GSC)というところと共同研究をしていて、バイオインフォマティクス、特に、細胞内シグナル伝達系の研究というのを目下やっています。現在、情報処理学会、IMACS (International Association for Mathematics and Computers in Simulation)、日本バイオイメージング学会、日本分子生物学会の会員です。

以上が、略歴。趣味は、囲碁・将棋。WING (World-wide Internet Gokaisho) に、出没しています。名前は naka。昔は、2 級ぐらいで安定していたのですが、最近、忙しくて、とつても不本意ながら 6 級。インターネットの碁会所のレーティングシステムはきびしいです。



米元 聡(よねもと さとし)

知能情報学科・講師

まず略歴ですが、福岡生まれで、幼少時は大宰府市に住み、その後は筑紫野市に住んでいます。平成 7 年 3 月に九州大学情報工学科を卒業し、平成 12 年 3 月に九州大学大学院システム情報科学研究科知能システム学専攻博士後期課程を修了しました。その後、九州大学大学院システム情報科学研究科の助手を 1 年間勤めました。本学には、学部創設前の平成 13 年より専任講師(情報科学部設置準備室副室長)として勤めることになりました。



大学時代には、研究テーマとしてコンピュータビジョン(画像理解)という分野に専念しました。主に、多数のビデオカメラで撮影した画像をもとに動物の動きや形状の情報を復元する技術の開発に取り組みました。最近はこの時に取り組んだ基礎技術をバーチャルリアリティ、ヒューマンインタフェース等に应用することに専念しています。研究紹介を別途掲載しておりますので詳しくはそちらをご覧ください。

講義は、基礎演習(1 年生)、アルゴリズムとデータ構造 I / II(2 年生)、人工知能(3 年生)を担当することになっています。